



第51期 クラブスローガン

「和の心、敬の心、清の心、寂の心」を以って 真摯な情熱を結集した奉仕



クリスマス家族合同例会



日本・フィリピン合同医療奉仕

2015～2016年

ライオンズのスローガン (テーマ)

☆国際協会

『Dignity.Harmony.Humanity (命の尊厳と和)』

☆334 複合地区

『心の平和は健康への第一歩～人間から人間へ心をつなげて～』

☆334-E 地区

『ライオニズムの誇りを未来へ』

MayOurProudLionism Shine in the Future!

新たなる存在へ いま輝こう



献血活動/サーブディ

NAGANO CHUO LIONS CLUB

長野中央ライオンズクラブ

URL <http://nagano-chuo-lions.logos.jp>

例会ニュース

■ 12月第一例会〈講演例会〉 12月10日(木)18:30

会員・会員増強(GMT)委員長 L.有賀良和



講演例会として、この度職場の第一線を退くために退会を余儀なくされたL.宮川秀幸による惜別の念をも込められた講演が行なわれました。社会の動向を調査・分析することを業(なりわい)としてきた氏は、ライオンズクラブに対しても冷静な評価をされ、今後のクラブの発展的存続のためには、なお一層の意識改革と積極的な活動が不可欠であることを明確に述べておられました。今後ご健勝にてご活躍されることをご祈念いたすところです。



なおこの日、L.小林博スポンサーの下宮下雅彦さんの入会式が行なわれ、挙げて歓迎の意が表されました。

■ 12月第二例会〈家族合同クリスマス例会〉

12月17日(金)18:30 YCE・青少年指導・LCIF委員長 L.宮下正典

毎年恒例の、ファミリーを招いて共に楽しい時間を過ごす「家族合同クリスマス例会」が和気あいあいのうちに開催されました。

今年は、L.若林会長の経営する(株)ロゴスがシステム開発を手がけ市場参入を果たした話題のロボット「ペッパーくん」を「特別ゲスト」としてお迎えし、子どもを中心に皆が興味津々で迎えました。

予めプログラミングされているとはいえ、まるで人間同士のようなその場に応じた巧みな話術に一同は感心するばかり、いつしか会場は近未来のコミュニティの場となりました。

少子高齢化に伴う人口減少傾向は、私たちの社会生活の中にも「ロボットへのニーズ」が発生する状況となっています。(株)ロゴスさんは、介護面でのロボット活用を手がけておられ、今後の発展的普及に期待が寄せられています。併せてそんな「時代の流れ」を認識しつつ、やがて将来社会を担う幼子たちが、積極的にロボットと向き合う姿が印象的でした。

未来の社会を先取りしたかのような、クリスマスのひとときでした。



■ 1月第一例会〈2R合同新年例会〉

1月13日(水) 15:30

出席委員長 L. 前田裕子



2016年の新春を寿ぐ「2R合同例会」が関係ライオン多数参集の下、盛大に開催されました。

会場のひな壇には、今期会長のL. 若林秀幸ならびにZCを務めるL. 上田がわがクラブを代表して座し、大きな拍手を受けていました。

祝宴では若手女性音楽家の弦楽とピアノが披露され、新春にふさわしく格調高い音色が会場に響いていました。

多様化する社会は新たな局面を迎え、今後のライオンズ活動も、クラブの垣根を越えRやZの大きな枠組みで取組むべき時代を迎えているとも申せます。

今年いちねんの安寧を祈念しつつ将来に向けたライオンズクラブの在り方にも心を砕いた有意義な合同新年例会となりました。



■ 1月第二例会〈健康を考える例会〉

1月28日(木) 18:30

市民奉仕・環境保全委員長 L. 大前憲治



◇4名もの新入会員を迎える

この日の例会では、各スポンサーL. のご尽力により4名もの新メンバーを迎える運びとなり、盛大かつ厳粛のうちに入会式を行ないました。(以下カッコ内: スポンサー)

伊藤博さん(L. 渋谷) 田中博明さん・坪根正晃さん(L. 上田) 西尾一彦さん(L. 若林) の各位がライオンズの誓いを唱和し、現メンバーと共に奉仕に臨む決意を新たにしておられました。

新たに多くのメンバーを迎え、クラブといたしましては喜びを共有すると同時に「入会して良かった!」と言っていただけるよう活発かつ意義あるクラブ運営に努めなければと、兜の緒を締める心境に至りました。



◇「さきベジ」の講演を拝聴

健康長寿社会の何たるかを改めて考える機会として、長野市国保大岡診療所の内藤廉医師を講師に招き「さきベジ」による健康づくりについての講演を拝聴しました。

「さきベジ」とは、食事の際には先ずベジタブル(野菜)を摂りましょう、という「先にベジタブル」の略称です。(長野市においては「さきベジ推進協議会」が発足し、加藤市長が会長に就任しています)

内藤先生は、非常にバイタリティあふれる仕草で「現代社会に蔓延する生活習慣病の主要因は「食べ過ぎ」に尽きます!」と断罪され、私たちの食生活の現状に警鐘を鳴らされると同時に、そもそも農耕民族である日本人に合った野菜中心(野菜優先)の食生活を送ることが重要であることを声高に訴えてくださいました。

そして、今を生きるわれわれが「さきベジ」を励行し、高度医療に頼らない健康寿命を延伸させることは、何より将来世代が暮らす社会の健全な行財政運営をも助けることにつながるという「さきベジ」の持つ長期に亘る社会的意義を説かれ、私たちは大いに共感しました。

講演を受け、この日の食事が「さきベジ」となったのは当然のところでは。



■2月第一例会〈ボウリング選抜例会〉

2月10日(木)18:00 YCE・青少年指導・LCIF担当委員長 L.市川和彦

2月第二例会は「ボウリング選抜例会」として、来る2月20日に開催される「3Zコミュニケーションボウリング大会」へ出場する選手(上位8名)を選抜すると同時に、メンバーの相互親睦を深める機会となりました。

普段は一同に会してボウリングなどのスポーツに興じる機会など少ない中ですが、この日ばかりは上着を脱いで真剣かつ和気あいあいのうちにボールを投げ、ストライクが出ると共にハイタッチを交わすなどし、選抜大会の場はいつしか笑顔を共有する場となっていました。

参加したちは「こんなスタイルの例会もまた楽しいネ。」と口々に話しておられました。



■街頭献血活動&献血サーブデー

2月6日(土)15:30

視聴覚障がい福祉・四献推進委員長 L.中島英明



2月冒頭の週末、32名のライオンそれに17名のガールスカウト関係者と多くの方々のご参加の下、街頭献血&サーブデーを実施しました。

当日は雪の予報でしたが、青空が覗き比較的穏やかな中で行なうことができました。

皆さんの熱心なお声かけにより、献血者は31名を数え、啓発ティッシュ5,000個を配り切ることができました。冬季は献血量そのものが減少傾向になってしまうことから、この日の献血は大いに社会貢献となりました。本当にありがとうございました!

TOPICS …ライオンズクエスト

ライオンズクエストとは、ライオンズクラブが支援する子どもたちに対して行なわれている「ライフスキル教育活動」について、ライオンズメンバーとしてもこの取組みを実際に研修・体験することで活動の趣旨の理解を深め、ひいては各クラブにおいても「ライフスキル教育活動」の普及・啓発に貢献しよう、というものです。

去る1月21日に塩尻市にある「長野県総合教育センター」で行なわれたセミナーにL.中島しず枝・L.倉野立人が参加しました。

生きていくうえで様々な課題に直面したときにただ悲観的になるのではなく、どう適切に対処すべきかをゲーム形式で学ぶもので、将来ある子どもたちに大切なスキルであることを実感しました。



アクトビティレポ

■ 334 - E 地区日本・フィリピン合同医療奉仕活動

2月5日から8日にかけて「ライオンズクラブ334-E地区日本・フィリピン合同医療奉仕活動」が実施され、長野中央ライオンズクラブからは、L. 若林秀幸・敦子ご夫妻、L. 上田正昭ZC、L. 竹内伊吉、L. 高波文武、L. 中島しず枝、L. 倉野立人、L. 有賀良和の8名が参加しました。

先発班は4日深夜にマニラ空港に到着、ホテルで仮眠を取った後、翌日は午前8時から物資の仕分けなどの準備作業を手伝いました。夕方には、両国のライオン関係者が一堂に会して行なわれた「結団式」に参加、全員で気持ちを合わせ万端を配して翌日に備えました。

6日～7日の2日間に亘るミッションは、参加者がA・Bの2班に分かれバスに分乗、マニラ近郊（と言っても初日のB班は約3時間をかけましたが）の無医村を訪れ、息つく間も無くミッションを展開、歯科・眼科・内科の各診療科の「一日診察」を実施しました。ドクターライオンの指示の下、各ライオンは歯科の補助をはじめ医薬品や眼鏡の配布などの医療支援を笑顔で務めました。

医療などの社会保障制度が未発達のフィリピンでは、低所得者層の住民が医療の恩恵を受けることが叶わない状況にあります。そのため当該の住民は、我々の医療奉仕を待ちかねておられ、各会場は長蛇の列となっていました。

図らずも私たちは、マニラでの医療支援を通じて「国民皆保険」等の世界に冠たる日本の社会保障制度の素晴らしさを再認識することとなりました。

なお今回も、長野市など県内在住の在日フィリピン人のみなさんが、旅費の自己負担で通訳ボランティアとして参加してくれ、現地医療支援の最大の障害となる「言葉の壁」が生じないように、我々と現地住民との「架け橋」となってくださり、感謝の念に堪えません。

彼らの担う役割の重要性・必要性に鑑み、今後はキャビネットも巻き込んで処遇改善を再考すべきと考えます。

いずれにしてもライオンイズムの精神の下、国境を越えて行われた合同医療奉仕活動は、心地よい疲労感とそれ以上の充実感を残しながらその任を終えることができました。



新入会員



L. 伊藤 博
 法規書籍印刷株式会社
 スポンサー
 L. 渋谷 一男
 所属委員会
 PR・情報・記録保存・会報・IT



L. 田中 博明
 信越電建株式会社
 スポンサー
 L. 上田 正昭
 所属委員会
 視聴覚障がい者福祉・四献推進



L. 坪根 正晃
 株式会社管興社
 スポンサー
 L. 上田 正昭
 所属委員会
 出席委員会



L. 西尾 一彦
 NECソリューション/バーター株式会社
 スポンサー
 L. 若林 秀幸
 所属委員会
 YCE・青少年指導・LCIF

ドネーション

■ 12月10日(第一例会)

L. 有賀良和
 本日は再三再四の登場でした。ご協力ありがとうございました。

3,000円

L. 今井竜吾
 誕生日月でした。ありがとうございました。

1,000円

L. 鹿住みよ子
 お誕生日祝いありがとうございます。1年早いですね又年を取ります。楽しい一年にします。

2,000円

L. 北村健一
 11月例会欠席ご迷惑かけました。誕生日祝いありがとうございます

10,000円

L. 野田正廣
 錦織健の資金獲得コンサートに協力をいただき無事終了しました。ありがとうございます。

10,000円

L. 東澤一也
 健やかに57才です。ありがとうございます。松本ライオン同じ日ですね。

3,000円

L. 松本節子
 誕生日のお祝いありがとうございます

3,000円

L. 若林秀幸
 故 L. 小林昭夫様を偲(しの)び。

5,000円

合計 37,000円

■ 12月17日(第二例会)

L. 宮下正典
 メリークリスマス 10,000円

L. 三浦靖雄
 夫婦でパーティーに出さしてもらってありがとうございます
 5,000円

L. 鹿熊 彰
 家族3人でクリスマス楽しませていただきます。ありがとうございます……

5,000円

L. 原田浩道
 今日の例会で半分任務完了!!残り半分御協力よろしく願います。

2,000円

L. 若林秀幸
 クリスマス例会に大勢のライオンのご出席ありがとうございます。

10,000円

L. 上野 仁
 誕生日祝いありがとうございました

3,000円

L. 上田正昭
 ベッパー君 年あて

3,000円

L. 小口範夫
 プレゼント

1,000円

L. 北村健一
 クリスマス大成功

5,000円

お花代 45000円

合計 89,000円

■ 1月28日(第二例会)

L. 上田正昭
 先日長野県の入札において新設大学の空調工事10億850万の契約を頂きました。有難うございます。

10,000円

L. 上田正昭
 本日新入会員、田中、坪根ライオンをよろしくご指導下さい

2,000円

L. 駒津 敏
 誕生日のお祝いありがとうございます50才に向けてリーチがかかりました。

5,000円

合計 17,000円

■ 2月10日(第一例会)

L. 若林 秀幸
 SoftBankロボット「ベッパー」のアプリの発売でできることになりました。お誕生日祝いありがとうございました。

10,000円

L. 若林 秀幸
 鴻巣市に老人ホームが2月1日に無事にオープンできました。

10,000円

L. 若林 秀幸
 フィリピンより無事に帰国しました。ご支援ありがとうございました。

10,000円

L. 宮下正典
 誕生日プレゼントありがとうございました。53才になりました。

5,000円

L. 小林次次郎
 お誕生日祝いありがとうございます。

3,000円

合計 38,000円



編集後記

第51期も「後半戦」に入り、会報も第3号を数えるに至りました。

今期も、各例会においては担当委員会が趣向を凝らしたテーマを掲げて運営され、それぞれに貴重な学びの場となっております。

また第3号の発行期間には、合計4名もの新入会員を迎えるに至りました。

やはりメンバーの増強はクラブ運営にとって最も力強い「弾みとなる」ところであり、スポンサーライオンのご尽力に改めて敬意を表するところであります。

今後は、新会員のみなさんに「入会して良かった!」と言っていただけのような活発な活動を期していただき、当委員会としてはそれらをしっかりと内外に伝えてまいりたいと思うところです。

ところで(毎回の所感ですが)日・比合同医療支援で訪れたマニラは、社会インフラが未発達で環境は決して良いとは言えない状況です。向こうへ行ってこそ、わが国・わが信州の環境のすばらしさを改めて実感する機会ともなっています。美味しい空気・水、美しい自然を後世に遺すべく、改めて心がけるべきと再認識いたしました。

域内では「周回遅れのインフルエンザ」が流行っています。L.各位におかれては、くれぐれもご自愛のほどを。

編集委員長 L. 内田 秀樹

〔会報第294号〕

2016年2月25日

長野中央ライオンズクラブ

PR・情報・記録保存・会報・IT委員会

L. 内田 秀樹

長野市妻科426-1

長野県建築士会館6階

☎ 026 (235) 3988

http://nagano-chuo-lions.lcgo.jp